

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	津波リスク評価業務
業務概要	津波シミュレーションを行い河川管理施設への影響を検討する
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 姫路河川国道事務所長 松木 洋忠 兵庫県姫路市北条一丁目250
契約年月日	平成24年10月15日
契約業者名	(株)ダイヤコンサルタント 関西支社
契約業者の住所	大阪府吹田市江坂町1-9-21
契約金額	20,706,000円(税込み)
予定価格	20,790,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、南海トラフの巨大地震モデル検討会の内容及び「津波浸水想定の設定の手引き」「河川への遡上津波対策に関する緊急提言」「津波の河川遡上解析の手引き(案)」等の指針に基づき、「施設計画上の津波」を対象に加古川及び揖保川において河川遡上解析を実施し、津波が河川管理施設に与える影響について検討するものである。</p> <p>本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、その内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定する標準プロポーザル方式である。参加可能業者が最低5者あることを確認のうえ、技術提案書の提出希望者を公募したところ、申請期間内に5者からの問い合わせ等があり、5者から参加表明書の提出があった。</p> <p>提出された技術提案書を審査した結果、上記業者の提案は、特定テーマ①において、津波シミュレーションの計算格子間隔を5mとし、内閣府が実施している「南海トラフの巨大地震モデル検討会」審議をよく把握した提案をするなどの確性に優れ、また、液状化による被災を地形モデルに考慮するなど、耐震による変調をモデルに反映する提案があり独創性にも優れており、提案内容が他社に比較して優位である。</p> <p>また、特定テーマ②において、安全性評価の留意点として津波流速による掃流力と被覆材料の限界掃流力とを比較する手法を具体的に明記するなどの確性に優れ、また、津波シミュレーションと堤防の沈下及び樋門の開閉を複合的に評価する手法を提案するなど独創性にも優れており他社に比較して優位であった。</p> <p>これらを総合的に評価した結果、当局の期待する最も優秀なものとして特定した上記業者と契約を行うものである。</p>
業務場所	兵庫県姫路市北条1丁目250
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成24年10月16日
履行期間(至)	平成25年2月28日
備考	落札率 99.6%

備考

- 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
- 入札情報サービス(PPI) <http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx> にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約課程に関する情報を閲覧可能である。